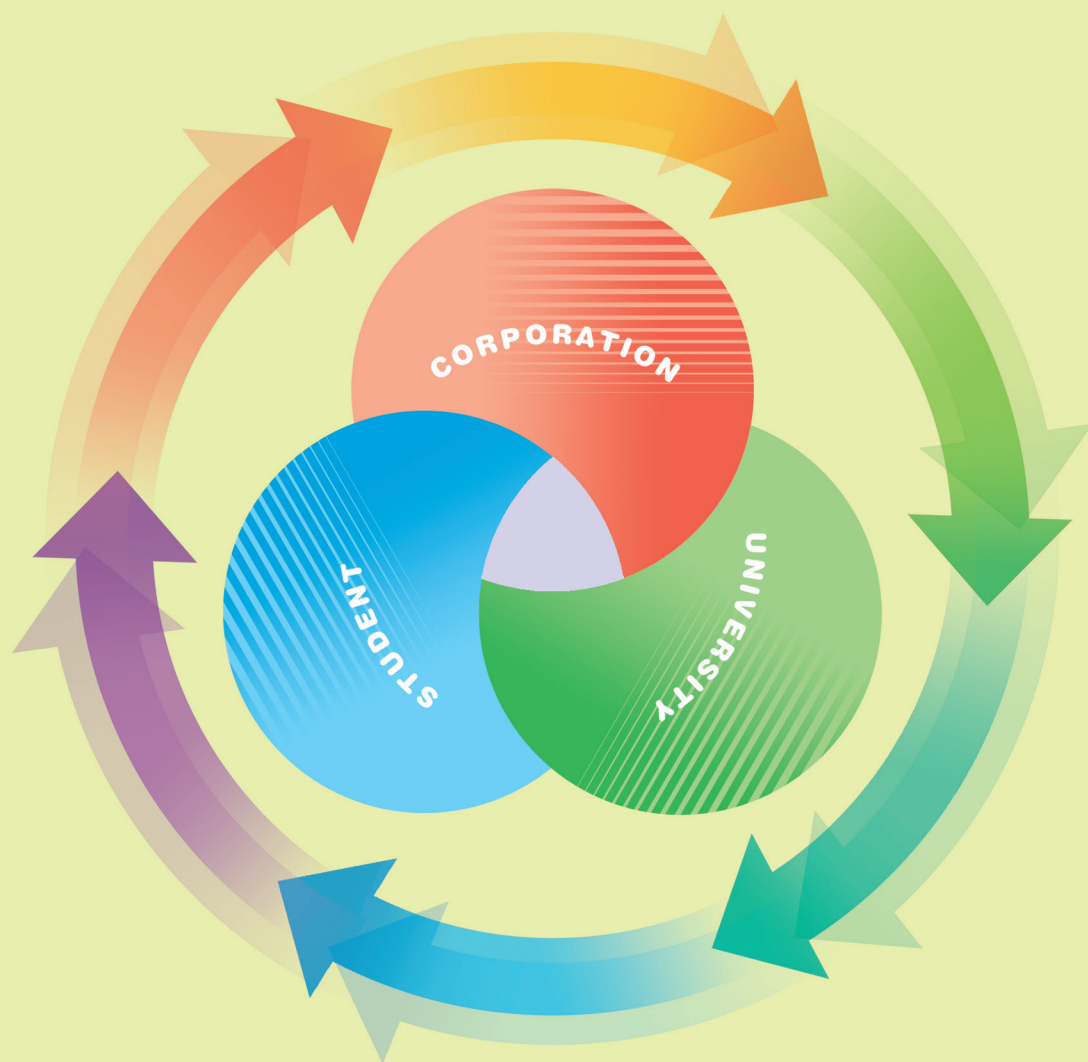


2019年度
**企業人
派遣講座**



一般財団法人
経済広報センター

はじめに

経済広報センターは、次代を担う大学生に最新の経済動向や産業の実態などについて、実感をもって理解していただくことを目的に、企業経営者や第一線で働く経営幹部、技術者を講師として大学に派遣する「企業人派遣講座」を開設しています。1986年度に早稲田大学国際部(現・国際教養学部)で開始して以来、12大学で講座を開設し、多彩な企業人が、企業の特徴ある事業や直面している経営課題、技術開発について、最新のトピックスを交えながら、わかりやすく学生たちに語りかけてきました。

2019年度は、7大学(うち3大学は同一講義をインターネット相互配信)で8講座を開設、合計延べ101人の講師を派遣しました。受講した学生は、合計2,185人にのぼります。

大学や学生からは、日本経済や企業の実体、技術の最先端に触れることができる貴重な機会であると高い評価を得ています。一方、講師の方々からも、学生に産業や企業について深く理解してもらえる良い機会である、との評価を得ています。

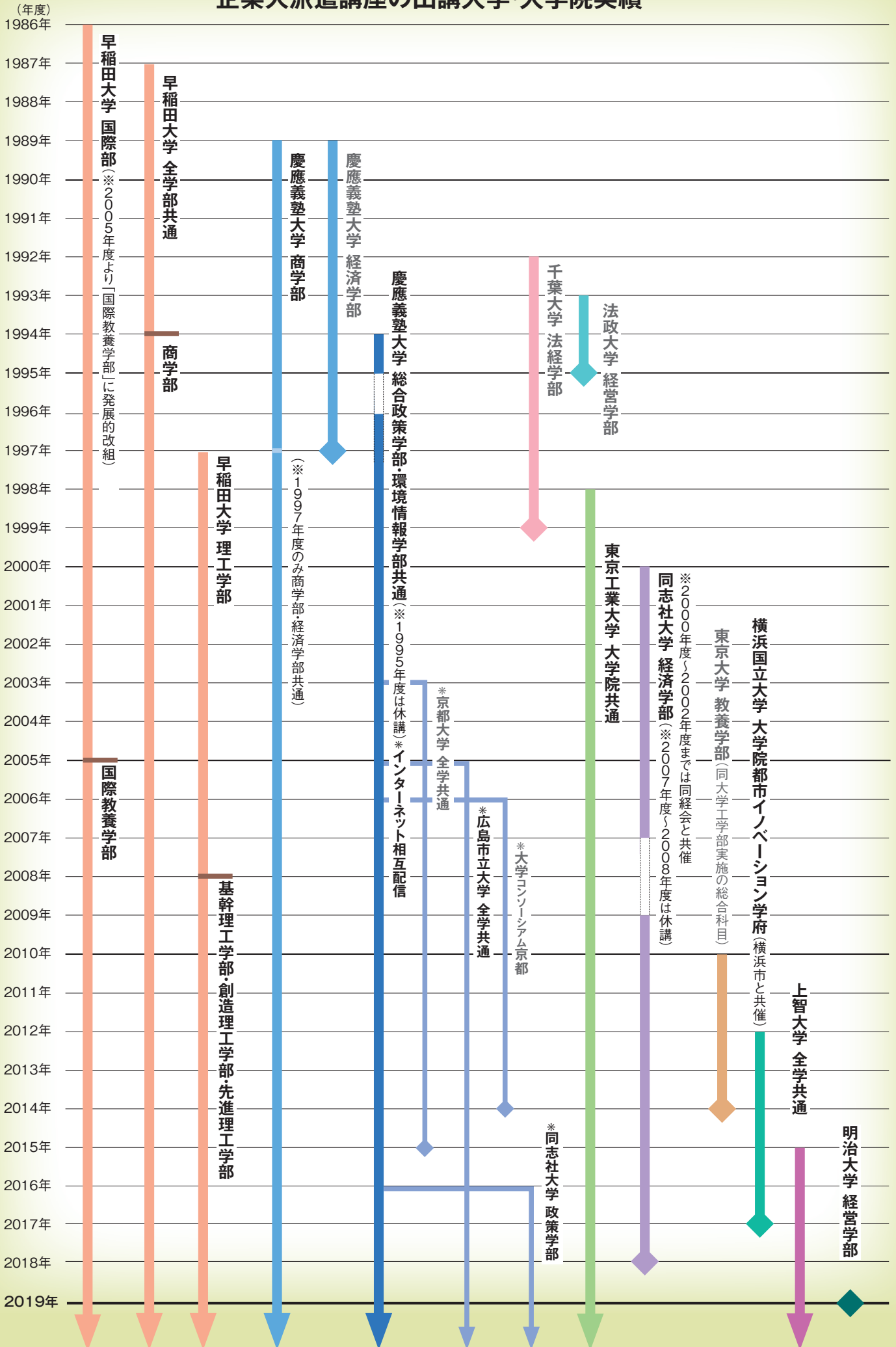
近年、めまぐるしく変化する世界経済の中で、我が国が自立的・持続的な経済成長をしていくためには、イノベーションが継続して産まれる環境作りが必要不可欠となっています。このイノベーション創出のためにも、大学の「知」や次代を担う「人財」と、付加価値の高い製品やサービスを社会に提供し続ける「企業」とが交流し連携することは、非常に大きな意義を有していると考えられます。そのため、産学連携による本講座は、大学と企業とが出会い、産業界で活躍できる人材を育てる場の一つとして、今後ともその重要性や期待はますます高まるものと確信しています。

最後に、お忙しい中、ご出講いただきました講師の方々および関係者の皆さまに心より感謝申し上げますとともに、今後も、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

一般財団法人 経済広報センター
専務理事・事務局長

渡辺 良

企業人派遣講座の出講大学・大学院実績



2019年度

(「株式会社」「財団法人」等および敬称は省略した。企業名、部署・役職名等は出講日時点)

前期・春学期

早稲田大学 国際教養学部

『日本企業論』..... 4

慶應義塾大学 商学部

『経済環境の変容と企業の成長戦略』..... 5

上智大学 全学共通

『新たな価値創出のために:情報化社会における日本企業の取り組み』..... 6

明治大学 経営学部

『SDGsと企業戦略』..... 7

後期・秋学期

早稲田大学 商学部

『変化に対応する日本企業』..... 8

早稲田大学 基幹理工学部・創造理工学部・先進理工学部

『21世紀における科学技術と社会』..... 9

慶應義塾大学 総合政策学部・環境情報学部共通

『21世紀の企業の挑戦』..... 10

※ 広島市立大学(全学共通)、同志社大学(政策学部)と共通講義

広島市立大学 全学共通

『21世紀の企業の挑戦』..... 10

※ 慶應義塾大学(総合政策学部・環境情報学部共通)、同志社大学(政策学部)と共通講義

同志社大学 政策学部

『21世紀の企業の挑戦』..... 10

※ 慶應義塾大学(総合政策学部・環境情報学部共通)、広島市立大学(全学共通)と共通講義

東京工業大学 大学院共通

『科学技術特論』..... 11

過去5年(2018年度~2014年度)の講義テーマ、出講企業・団体名..... 12

■受講生

早稲田大学国際教養学部学生を中心に141名

■コーディネーター

篠 潤之介 / 早稲田大学 国際教養学部専任講師



日本企業論

～日本企業の国際戦略とその経営理念～

〔シラバス抜粋〕

This special course has provided Waseda University students with the opportunity to hear the nature and the internationalization of Japanese enterprise directly from respected senior executives and business analysts of leading Japanese firms. The course was founded by the Japan Institute for Social & Economic Affairs (Keizai Koho Center). We plan on inviting directors from major Japanese companies such as Japan Airlines, Sumitomo Corporation, (Sumitomo Shoji), Kikkoman and so forth. Each week a guest speaker will share their insights into the contemporary challenges and opportunities facing Japanese firms in the global market.

4月10日	オリエンテーション	篠 潤之介	早稲田大学 国際教養学部専任講師
4月17日	Notes on Corporate Behavior	篠 潤之介	早稲田大学 国際教養学部専任講師
4月24日	Strategy of Fast Retailing and Role of Finance	大河 理沙	ファーストリテイリング 計画管理部財務チーム
5月8日	日本の航空産業と国際戦略	野田 靖	日本航空 国際提携部長
5月15日	Financial Crisis and Regulatory Reforms	原 俊太郎	日本銀行 金融機構局国際課企画役
5月22日	国際企業の日本戦略	小林 康二	日本コカ・コーラ 経営戦略本部コンシューマー&コマースナレッジ&インサイト ディレクター
5月29日	Leadership in the Digital Age	中 島 シハブ・ドウグラ	シスコシステムズ 専務執行役員サービス営業統括
6月5日	中間試験	篠 潤之介	早稲田大学 国際教養学部専任講師
6月12日	日本における資産管理サービス	高橋 秀行	ステート・ストリート信託銀行 取締役会長
6月19日	日本の金融市場	サマージット・ デュアラ	野村證券 グローバル・マーケット企画部ホールセールストラテジー マネージング・ディレクター
6月26日	Management Philosophy and Global Management of AGC	森山 賢三	AGC 常務執行役員経営企画本部長
7月3日	日本の総合商社と新しい展開	林 慎也	住友商事グローバルリサーチ 企画総括部企画総括部長付(広報担当)
7月10日	日本の食品産業と国際戦略	中村 光伸	キッコーマン 執行役員海外事業部長
7月17日	経団連が目指す通商戦略	原 一郎	日本経済団体連合会 常務理事国際経済本部長
7月24日	期末試験	篠 潤之介	早稲田大学 国際教養学部専任講師

■受講生

慶應義塾大学商学部 3・4年生 670名

■コーディネーター

久保 研介 / 慶應義塾大学 商学部准教授



経済環境の変容と企業の成長戦略

〔シラバス抜粋〕

国内の人口減少や消費低迷に直面する日本企業の多くは、これまで海外市場に積極的に展開したり、新たな製品・サービスを開発したりすることで成長を続け、収益性を確保してきました。一方で、日本企業を取り巻く環境は変容しており、成長戦略上の意思決定を難しくしています。一つの変化は、米国をはじめ一部の国が保護主義に転じるなど、貿易・投資に関する国際的秩序が揺らいでいることです。もう一つ大きな変化として、通信技術及びコンピュータ技術の進歩を背景に、業種の垣根を超えた企業間競争が激化していることが挙げられます。

本講座は、企業がこうした経済環境の変容をどのように捉え、その中でいかにして成長戦略を策定・実行しているかについて、個別企業から直接聴き、学習する機会を提供することを目的とします。講師は各業界を代表する企業の役職員が務め、オムニバス形式で実施します。

4月9日	イントロダクション	久保 研介	慶應義塾大学 商学部准教授
4月16日	世界で勝てる日本発の グローバルビューティーカンパニーを目指して	青木 淳	資生堂 取締役常務チーフピープルオフィサー
4月23日	経済環境の変容と企業の成長戦略 ~三菱マテリアルのこれまでと将来への変革~	入江 彰二郎	三菱マテリアル 経営戦略本部経営企画部経営企画室室長補佐
5月7日	経済環境の変容と企業の成長戦略	篠塚 寛訓	アマゾンジャパン 人事統括本部人事部部长
5月14日	経済環境の変容と企業の成長戦略	島崎 豊	丸紅 執行役員秘書部長兼広報部長
5月21日	マツダデザインの挑戦	前田 育男	マツダ 常務執行役員デザイン・ブランドスタイル担当
5月28日	経済環境の変容と企業の成長戦略 ~王子グループの経営戦略~	中島 隆	王子マネジメントオフィス 執行役員グループ企画本部企画部長
6月4日	金融機関の成長戦略	檜原 伸一郎	みずほフィナンシャルグループ コーポレート・コミュニケーション部長
6月11日	セブン-イレブン・ジャパン 変化への対応の歴史と成長戦略	平 誉史	セブン-イレブン・ジャパン 企画本部経営企画部総括マネジャー
6月18日	高速鉄道の経営 ~東海道新幹線、リニア中央新幹線、海外展開~	丹羽 俊介	東海旅客鉄道 執行役員広報部長
6月25日	三菱商事の成長戦略	有馬 直樹	三菱商事 経営企画部産業インフラグループ担当
7月2日	モノ作り企業が、コトの価値創造に挑戦する ~コマツ「スマートコンストラクション」の取り組み~	四家 千佳史	コマツ 執行役員スマートコンストラクション推進本部長
7月9日	経済環境の変容と企業の成長戦略 ~第一生命。いちばん、人を考える経営~	山口 仁史	第一生命ホールディングス 人事ユニット長
7月16日	まとめ(試験)	久保 研介	慶應義塾大学 商学部准教授

■受講生

上智大学全学部3・4年次生 143名

■コーディネーター

来島 愛子 / 上智大学 経済学部教授



新たな価値創出のために：情報化社会における日本企業の取り組み

〔シラバス抜粋〕

近年、IT技術の発達や携帯情報端末の普及などで、ビッグデータ、大量の情報の入手が容易になり、企業の活動における情報を取り巻く環境が大きく変化する中で、情報をどう取り扱いつつどのように利用するかは重要な鍵となっています。

この講義では、実際に企業で大量の情報を扱っていらっしゃる方々を講師にお招きして、企業活動への情報利用の取り組み、そしてそれによって生み出された新たな価値についてご講演いただきます。

この講義を通して情報化社会における情報の価値への理解を深めることで、高学年学生がそれまで各学部で学んできた知識を生かしながら、将来情報を取り扱う仕事に組み込みたいと考える契機となることが期待されます。

4月17日	ガイダンス・イントロダクション	来島 愛子	上智大学 経済学部教授
4月24日	デジタルエコノミー社会におけるビジネスモデル変革	梅川 健児	凸版印刷 情報コミュニケーション事業本部トッパンアイデアセンター コミュニケーションデザイン本部本部長
5月8日	麒麟のCSV経営とマーケティング	坪井 純子	麒麟ホールディングス 常務執行役員ブランド戦略部長
5月15日	情報化社会における花王グループの モノづくりとマーケティング	夏坂 真澄	花王 常務執行役員特命担当
5月22日	ANAのカスタマー・エクスペリエンス	中野 洋平	全日本空輸 マーケティング室マーケティング企画部企画チームマネジャー
5月29日	高速鉄道の経営 —東海道新幹線、リニア中央新幹線—	丹羽 俊介	東海旅客鉄道 執行役員広報部長
6月5日	「物流の改革」を実現、宅急便の進化を支える 最重要システム・IT戦略	田中 従雅	ヤマトホールディングス 常務執行役員IT戦略担当
6月12日	小売業のデータ戦略	清水 健	セブン&アイ・ホールディングス 執行役員デジタル戦略部シニアオフィサー
6月19日	マーケティングのデジタルイノベーション	熊本 和浩	キャノンマーケティングジャパン IT本部ITシステム企画第一部主席
		北野 晃司	キャノンマーケティングジャパン IT本部ITシステム企画第一部データサイエンティスト
6月26日	三越伊勢丹の新たな価値創出への挑戦	浦田 努	三越伊勢丹ホールディングス 取締役常務執行役員デジタル事業部門長
7月3日	新型車の企画やマーケティングにおける データの活用方法について	桐竹 里佳	日産自動車 コーポレート市場情報統括本部本部長
7月10日	オープンイノベーションとビジネスアイディエーション	残間 光太郎	エヌ・ティ・ティ・データ オープンイノベーション事業創発室室長
7月17日	三井不動産の目指す街づくり ～柏の葉スマートシティでの取り組み～	三宅 弘人	三井不動産 柏の葉街づくり推進部事業グループグループ長
7月24日	ビッグデータ時代のマーケティングリサーチ	長崎 貴裕	インテージ 執行役員開発本部本部長
7月31日	試験	来島 愛子	上智大学 経済学部教授

■受講生

明治大学経営学部 3・4年生 190名

■コーディネーター

関 正雄 / 明治大学 経営学部特任教授



SDGsと企業戦略

〔シラバス抜粋〕

2015年に採択された国連持続可能な開発目標(SDGs)では、実現に向けた企業の役割に注目が集まっており、国内外の企業の間でも事業戦略に組み込む動きが広がっている。そこで、企業の先進的事例等に基づいて、SDGsをいかに企業戦略に組み込んでいくかを学んでいく。

前提としてSDGsの本質を理解したうえで、先進企業の具体的戦略を学びながら、企業のイノベーション力がどうSDGsにおいて必要とされ、目標達成に貢献するのかを考える。その学びを通じて、企業が生み出す社会的価値や、企業の社会的責任(CSR)の現代的な意義に関して、正しい理解を深める。

4月16日	イントロダクション SDGsとは何か、企業の役割は何か。	関 正雄	明治大学 経営学部特任教授
4月23日	ANAグループ SDGsへの取り組み	宮田 千夏子	ANAホールディングス CSR推進部長
5月7日	味の素グループのSDGsへの取り組み	室 俊幸	味の素 広報部ダイレクトコミュニケーショングループシニアマネージャー
5月14日	オムロンにおけるサステナビリティの取り組み	松古 樹美	オムロン サステナビリティ推進室エンゲージメント推進部長
5月21日	SDGs達成に貢献するNECの 「社会を良くするコミュニケーション」	飾森 亜樹子	日本電気 コーポレートコミュニケーション本部長
5月28日	経団連のSDGsへの取り組み	長澤 恵美子	日本経済団体連合会 SDGs本部統括主幹
6月4日	住友化学のサステナビリティの推進	福田 加奈子	住友化学 理事CSR推進部長
6月11日	SDGsの達成に貢献する日立の取り組み	高野 美樹	日立製作所 サステナビリティ推進本部ディスクロージャー推進部部長
6月18日	国連持続可能な開発に関するLIXILの取り組み	後藤 淳一	LIXIL Social Sanitation Initiative部長
6月25日	SDGsと住友商事のサステナビリティ経営	山本 威司	住友商事 サステナビリティ推進部企画チーム長
7月2日	日本政策投資銀行のSDGsへの取り組み	竹ヶ原 啓介	日本政策投資銀行 執行役員産業調査本部副本部長
7月9日	SDGsと企業戦略	大川 哲郎	大川印刷 代表取締役社長
7月23日	持続可能な社会の実現をめざして イオンの取り組み	金丸 治子	イオン 環境・社会貢献・PR・IR担当付担当部長
7月30日	まとめ・試験	関 正雄	明治大学 経営学部特任教授

■受講生

早稲田大学商学部・他学部 2年生以上 309名

■コーディネーター

片岡 孝夫 / 早稲田大学 商学学術院教授



変化に対応する日本企業

〔シラバス抜粋〕

今年度は「変化に対応する日本企業」というテーマで開催されます。日本企業をとりまく環境は、少子高齢化、グローバル化の進展、ICT技術の急速な発展、政府の財政状況の悪化、中東・欧州・東アジア等における経済状況の急変などにより大きく変化し、旧来のビジネスモデルは修正を余儀なくされています。この講義では、経済の最前線で活躍されている方々をお招きして、日本企業がこれらの環境変化に対し、どのように対処しているかを直接お話しいただきます。

真摯かつ熱心な聴講を期待します。

10月3日	ガイダンス	片岡 孝夫	早稲田大学 商学学術院教授
10月10日	「オリックス」というビジネスモデル	石原 知彦	オリックス 社長室長
10月17日	経済環境の変容と企業の成長戦略	篠塚 寛訓	アマゾンジャパン 人事統括本部人事部長
10月24日	共創活動のフレームワーク 「サービスデザイン」で世の中をポジティブに変え続ける企業活動を	井澤 賢一	大日本印刷 情報イノベーション事業部C&Iセンターデジタルマーケティング 本部本部長
10月31日	エネルギー業界の変革と東京ガスの挑戦	竹内 敦則	東京ガス エネルギー企画部長
11月7日	革新技術がもたらす未来の社会	田代 裕和	NTTデータ 技術革新統括本部技術開発本部企画部VISTECH推進室 シニア・エキスパート
11月14日	Mitsui Diversity Management	湯口 麻紀	三井物産 人事総務部ダイバーシティ経営推進室
11月21日	"変化を創り出す"トヨタのチャレンジ ~ものづくりを進化させるエネルギーは"挑戦"~	中井 久志	トヨタ自動車 渉外広報部グローバル・リレーション室コーポレート・ 技術グループ 技範・担当部長
11月28日	第一生命。いちばん、人を考える経営	山口 仁史	第一生命ホールディングス 人事ユニット長
12月5日	社会と併走するマーケティング~ライオンの事例~	原 憲子	ライオン コンシューマーナレッジセンター生活者研究担当部長
12月12日	高速鉄道の経営 -東海道新幹線、リニア中央新幹線、海外展開-	武田 健太郎	東海旅客鉄道 執行役員広報部長
12月19日	大阪から世界へ ワールドクラスを目指す成長戦略	山城 紀之	カプコン 総務部長
1月9日	次世代金融への転換	檜原 伸一郎	みずほフィナンシャルグループ コーポレート・コミュニケーション部長
1月16日	鉱業から工業への事業展開 -鉱山開発技術から展開した技術の系譜-	荻野 正浩	古河機械金属 取締役常務執行役員経営企画部長
1月23日	理解度の確認(試験)	片岡 孝夫	早稲田大学 商学学術院教授

■受講生

早稲田大学基幹理工学部・創造理工学部・先進理工学部 1年生以上 302名

■コーディネーター

綾部 広則 / 早稲田大学 理工学術院創造理工学部社会文化領域教授
 石倉 義博 / 早稲田大学 理工学術院創造理工学部社会文化領域教授
 白木 里恵子 / 早稲田大学 理工学術院創造理工学部社会文化領域講師
 馬場 健誠 / 早稲田大学 理工学術院創造理工学部社会文化領域講師



21世紀における科学技術と社会

～持続可能な社会に向けた技術と企業戦略～

〔シラバス抜粋〕

本講座は多くの学生諸君の関心を惹き、社会的にも大いに評価を得てきたことから、2001年度以降も継続して設置されることになり、世界的にも科学技術と社会の関係を問うSTS(Science, Technology, and Society)研究が注目されている状況をふまえて、「21世紀における科学技術と社会」をメインテーマとする科目を開設し、多角的な視点から科学技術のあり方を探求している。

今年度は、「持続可能な社会に向けた技術と企業戦略」というテーマとする。持続可能な社会の実現は科学技術にとどまらず、経済・産業にいたる広範な分野から成り立っており、その裾野の広がり大きさにゆえに、全体像を俯瞰することは容易ではない。

そこで第一線でご活躍の方々をお招きし、各分野での取り組みをお話しいただくことで、その具体像や今後の展望を知る手がかりとする。

9月30日	オリエンテーション	馬場 健誠	早稲田大学 理工学術院創造理工学部社会文化領域講師
10月7日	持続可能な社会に向けた技術と企業戦略: 経団連のSDGsへの取り組み	長澤 恵美子	日本経済団体連合会 SDGs本部統括主幹
10月14日	SDGsの達成に貢献する日立の取り組み	高野 美樹	日立製作所 サステナビリティ推進本部ディスクロージャー推進部部長
10月21日	持続的社會に向けた技術と企業戦略:旭化成	徳永 達彦	旭化成 サステナビリティ推進部長
10月28日	住友商事のサステナビリティ経営	山本 威司	住友商事 サステナビリティ推進部企画チーム長
11月11日	持続的な社会に向けた技術と企業戦略	田中 志郎	LIXIL LIXIL HOUSING TECHNOLOGY サッシ商品開発部付部長
11月18日	未来の持続的社會に向けた技術と経営戦略	羽田 昭裕	日本ユニシス フェローCTO
11月25日	オリンピック・パラリンピックと持続可能性	荒田 有紀	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 総務局持続可能性部長
12月2日	住友化学グループのサステナビリティ推進の取り組みについて	福田 加奈子	住友化学 理事CSR推進部長
12月9日	持続可能な社会に向けた技術と企業戦略: スマート農業を中心として	飯田 聡	クボタ 特別技術顧問
12月16日	SDGsと企業戦略に基づいた研究開発部門の活動	林 大介	鹿島建設 技術研究所土木構造グループグループ長
12月23日	SDGsと非鉄金属業界	大井 滋	JX金属 特別理事
1月20日	未来の持続的社會に向けた東京ガスグループの企業戦略	中島 伸二	東京ガス サステナビリティ推進部長
1月27日	SDGsをいかに経営に統合するか	関 正雄	日本経済団体連合会 企業行動・CSR委員会企業行動憲章タスクフォース座長 明治大学 経営学部特任教授 損保ジャパン日本興亜 CSR室シニアアドバイザー
2月3日	試験	馬場 健誠	早稲田大学 理工学術院創造理工学部社会文化領域講師

■受講生

慶應義塾大学総合政策学部・環境情報学部 1~4年生他 248名
広島市立大学 1~4年生 93名
同志社大学政策学部 2~4年生 28名

■コーディネーター

小澤 太郎 / 慶應義塾大学 総合政策学部教授
田中 宏和 / 広島市立大学 大学院情報科学研究科教授
前田 香織 / 広島市立大学 大学院情報科学研究科教授
畑本 裕介 / 同志社大学 政策学部教授

21世紀の企業の挑戦

~デジタル時代のビジネス戦略~

〔シラバス抜粋〕

この講座は学部学生に対して実社会への窓口となり、学生諸君が自分の将来を考える上で注目度の高い講座となっている。

デジタル時代到来の下での情報通信産業の発展並びに産業全般のICT化の進展は、21世紀の経済面での我が国の国際競争力をかなりの程度決定付けると考えられる。今年度もデジタル時代のビジネス戦略に直接携わられ、実践されてこられた方々を講師としてお迎えし、最先端の実務の現状並びに解決すべき課題を分かり易く講義して頂く事とした。また、広島市立大学及び同志社大学と遠隔授業を行う。



慶應義塾大学授業風景

9月24日	ガイダンス	小澤 太郎	慶應義塾大学 総合政策学部教授
10月1日	情報通信産業の全体像と競争・連携の構図	神野 新	情報通信総合研究所 法制度研究部主席研究員
10月8日	山形庄内から、ときめこう。	山中 大介	YAMAGATA DESIGN 代表取締役
10月15日	キャッシュレス決済: 裏側の仕組み、プラットフォーム競争、ミクロ経済学の視点	副島 豊	日本銀行 決済機構局審議役 FinTechセンター長
10月29日	中小企業は知恵の経営: 創業期から成長期にかけての課題をいかに克服するか	藤井 辰紀	日本政策金融公庫 総合研究所中小企業研究第一グループリーダー
11月5日 (広島市立大発)	ソーシャルビジネスへの取組み	宮本 幸治	コトブキノソリューション 企画室室長
11月12日 (同志社大発)	サービス業から製造業への変革。 その先に見るエレベーター学校の設立!	田中 陽一	京都エレベーター 代表取締役
11月19日 (同志社大発)	グラフィックデザイン業界の状況と課題	岩元 俊之	アイ・ワーク 取締役アートディレクター
11月26日 (広島市立大発)	広島からものづくりを変える!~ローカルSierの挑戦~	増田 剛洋	エネルギー・コミュニケーションズ ソリューション営業本部ソリューションサービス部 IoTソリューションチームマネージャ
12月3日 (同志社大発)	景気の波に飲み込まれない強い中小企業を目指して	増井 祐介	エージェンシーアシスト 代表取締役副社長
12月10日	Workstyle Innovation Initiative: 働き方改革実践事例	小柳津 篤	日本マイクロソフト エグゼクティブアドバイザー
12月17日	ODA(政府開発援助)を活用した、 中小企業の海外事業戦略とトルコにおける事例	藤井 大介	フジコーポレーション 代表取締役
12月24日	世界の産業変革とサイバーセキュリティ	池田 尚義	富士通 サイバーセキュリティ事業戦略本部 Planning Director
1月7日	日本人1,000万人を英語が話せるようにするために	中村 岳	レアジョブ 代表取締役社長
1月14日	総括	小澤 太郎	慶應義塾大学 総合政策学部教授

■受講生

東京工業大学大学院学生 61名

■コーディネーター

奥野 喜裕 / 東京工業大学 工学院教授



科学技術特論

～エネルギー・環境技術の最先端と将来展望～

〔シラバス抜粋〕

全学大学院学生を対象に、産業界の最前線の情報を提供しつつ、グローバルな視点を有する優れた人材を育成することを目的に開講します。日本を代表し、また世界でも活躍されている産業界のトップ、研究開発部門のエキスパートの方々の講義であり、産業界あるいは企業と大学との接点を見出し、それぞれが描く将来展望のすりあわせを図ります。研究開発や教育等で、世界的な活躍が期待される、またそのような意欲に燃えた大学院学生諸君にとって、将来本講義で習得した高度な専門知識が生かされることを期待しています。各講義では、討論の時間を可能な限り多く設け、受講生と講師の対話を大切にします。

なお、講義はすずかけ台キャンパスと大岡山キャンパス間で遠隔講義システムを使い同時にを行い、講師はすずかけ台キャンパスと大岡山キャンパス交互に来学します。

10月2日 (大岡山)	ガイダンス	奥野 喜裕	東京工業大学 工学院教授
10月9日 (すずかけ台)	エネルギーと気候変動問題	中山 寿美枝	電源開発 経営企画部 / 火力発電部審議役
10月16日 (すずかけ台)	自動車業界におけるエネルギー・環境先端技術	茂木 和久	トヨタ自動車 環境部調査グループプロフェッショナル・パートナー
10月23日 (大岡山)	石油を巡る二つの革命	橋爪 吉博	日本エネルギー経済研究所 石油情報センター 事務局長
10月30日 (すずかけ台)	航空業界におけるエネルギー・環境先端技術	安藤 大樹	全日本空輸 整備センター技術部機装技術チーム
11月6日 (大岡山)	発電用ガスタービンの技術開発の現状と展望	正田 淳一郎	三菱日立パワーシステムズ 執行役員ターボマシナリー本部副本部長兼ガスタービン技術総括部長
11年13日 (すずかけ台)	浮体式洋上風力発電の現状と課題	佐藤 郁	戸田建設 戦略事業推進室エネルギー事業部副事業部長
11月20日 (大岡山)	次世代エネルギー技術と事業展開 ～天然ガス利用技術を中心として～	穴水 孝	東京ガス 代表取締役副社長執行役員エネルギーソリューション本部長・ 電力本部長
12月4日 (すずかけ台)	原子力発電の現状及び展望	市川 長佳	東芝エネルギーシステムズ エネルギーシステム技術開発センター技術顧問
12年18日 (すずかけ台)	バイオマスエネルギーの高度利用と将来展望	八村 幸一	鹿島建設 環境本部プロジェクト開発グループ長
12月25日 (大岡山)	鉄鋼業界におけるエネルギー・環境先端技術と 地球温暖化対策	手塚 宏之	JFEスチール 専門主監(フェロー)兼技術企画部地球環境グループリーダー
1月8日 (大岡山)	二酸化炭素の回収・貯留技術の現状と展望	熊谷 司	日揮ホールディングス アセットマネジメント部部長代行
1年15日 (すずかけ台)	2050年に向けたエネルギーシナリオと変革の切り口	金田 武司	ユニバーサルエネルギー研究所 代表取締役社長
1月22日 (大岡山)	総括	奥野 喜裕	東京工業大学 工学院教授

過去5年(2018年度~2014年度)の講義テーマ、出講企業・団体名

【前期・春学期・夏学期】

大学・学部名	年度	科目名・テーマ
早稲田大学／国際教養学部	2018	日本企業論 ～日本企業の国際戦略とその経営理念～
	2017	
	2016	
	2015	
	2014	
慶應義塾大学／商学部	2018	「持続可能な開発」と企業の国際経営戦略
	2017	変化する経済の中での企業の成長戦略
	2016	人口減少下における日本経済と企業の成長戦略
	2015	企業の成長戦略と国民の経済的繁栄
	2014	国際競争のもとでの企業の成長戦略
同志社大学／経済学部 (※2018年度終了)	2018	科学と技術 ～企業のグローバル展開～
	2017	科学と技術 ～人口減少下の成長戦略～
	2016	科学と技術 ～イノベーションと企業価値～
	2015	科学と技術 ～人々の安心・安全を守るための企業の取り組み～
	2014	科学と技術 ～世界同時不況後の成長戦略～
横浜国立大学／大学院都市イノベーション学府 (※2017年度終了)	2017	都市マネジメント 環境未来都市の実現へ ～産業界の挑戦と都市マネジメント～
	2016	
	2015	
	2014	
上智大学／全学共通	2018	新たな価値創出のために:日本企業のイノベーションへの取り組み
	2017	
	2016	日本の産業とイノベーション
	2015	

【後期・秋学期】

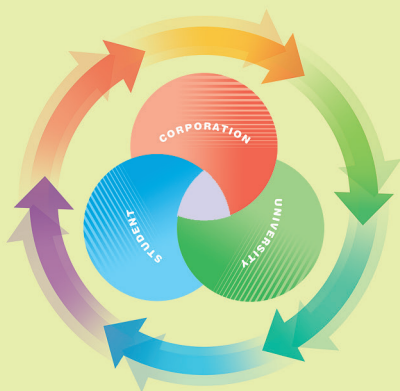
大学・学部名	年度	科目名・テーマ
早稲田大学／商学部	2018	変化に対応する日本企業
	2017	
	2016	
	2015	日本企業のイノベーションと成長戦略
	2014	日本企業の国内外における利益獲得競争の最前線
早稲田大学／ 基幹理工学部・創造理工学部・先進理工学部	2018	21世紀における科学技術と社会 ～農林水産業の現状と展望～
	2017	21世紀における科学技術と社会 ～都市生活を支える技術～
	2016	21世紀における科学技術と社会 ～スマート社会の展望～
	2015	21世紀における科学技術と社会 ～センシング技術の現状と展望～
	2014	21世紀における科学技術と社会 ～情報通信技術の展望～
慶應義塾大学／総合政策学部・環境情報学部 広島市立大学／全学共通科目 同志社大学／政策学部	2018	21世紀の企業の挑戦 ～デジタル時代のビジネス戦略～
	2017	
	2016	
慶應義塾大学／総合政策学部・環境情報学部 京都大学／全学共通科目 広島市立大学／全学共通科目	2015	21世紀の企業の挑戦 ～ブロードバンド時代のビジネス戦略～
	2014	
東京工業大学／大学院共通	2018	科学技術特論 ～エネルギー・環境技術の最先端と将来展望～
	2017	
	2016	
	2015	
	2014	

出講企業・団体名

キッコーマン、シスコシステムズ、ステート・ストリート信託銀行、住友商事グローバルリサーチ、日本経済団体連合会、日本航空、日本コカ・コーラ、野村ホールディングス、三井物産
インテル、キッコーマン、シスコシステムズ、ステート・ストリート信託銀行、住友金属鉱山、住友商事グローバルリサーチ、日本アイ・ピー・エム、日本経済団体連合会、日本航空、日本コカ・コーラ、三井物産
インテル、キッコーマン、コマツ、ステート・ストリート信託銀行、住友商事グローバルリサーチ、日本経済団体連合会、日本アイ・ピー・エム、日本航空、日本コカ・コーラ、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、三井物産、モルガン・スタンレーMUFJ証券
インテル、CarpeDiem、コマツ、住友商事グローバルリサーチ、ソニー、トヨタ自動車、日本経済団体連合会、日本航空、野村証券、三井物産、三菱自動車工業、モルガン・スタンレーMUFJ証券
コマツ、ソニー、ドコモエンジニアリング、トヨタ自動車、日本経済団体連合会、日本航空、野村ホールディングス、みずほ証券、三井物産、三菱自動車工業、三菱商事、モルガン・スタンレーMUFJ証券
旭化成、味の素、イオン、伊藤忠商事、オムロン、住友化学、損害保険ジャパン日本興亜、武田薬品工業、日本電気、パナソニック、日立製作所、LIXIL
NTTデータCCS、オムロン、鹿島建設、コマツ、住友金属鉱山、セブン-イレブン・ジャパン、大京、東海旅客鉄道、東京ガス、東レ、日立製作所、三菱商事
鹿島建設、カブコン、コマツ、セブン-イレブン・ジャパン、大京、東海旅客鉄道、東レ、日本郵船、野村アセットマネジメント、みずほフィナンシャルグループ、三菱商事、ユーグレナ/ユーグレナインベストメント
鹿島建設、カルビー、コマツ、セブン-イレブン・ジャパン、全日本空輸、東海旅客鉄道、凸版印刷、日本経済団体連合会(丸紅)、日本電気、野村ホールディングス(野村証券)、みずほフィナンシャルグループ、ヤマト運輸
味の素、コマツ、資生堂、住友商事、セブン-イレブン・ジャパン、全日本空輸、千葉銀行、東レ、トヨタ自動車、日本電気、野村ホールディングス、東日本旅客鉄道
味の素、ANAホールディングス、麒麟ホールディングス、住友金属鉱山、セブン-イレブン・ジャパン、東海旅客鉄道、日本マイクロソフト、パナソニック、堀場製作所、マツダ、三菱商事、モスフードサービス、ワコール
アサヒビール、アマゾンジャパン、大阪ガス、オムロン、コマツ、島津製作所、デンソー、凸版印刷、日本電信電話、日立製作所、不二製油、三井不動産、ヤンマー、楽天
ANAホールディングス、JXリサーチ、大京、東海旅客鉄道、戸田建設、日産自動車、日本電気、日本郵船、星野リゾート、マツダ、ヤフー、ヤマト運輸、LINE
大阪ガス、カブコン、キュービー、近畿日本鉄道、セコム、東芝 コミュニティソリューション社、ドコモ・ヘルスケア、凸版印刷、トヨタ自動車、西日本高速道路、パナホーム、阪急電鉄、雪印メグミルク
大林組、関西電力、キッコーマン、京都銀行、シークス、スズキ、住友化学、タキイ種苗、東海旅客鉄道、東レ、日本航空、日本電信電話、ライオン
麒麟、THE FUN、JXTGエネルギー、宝さがしから地域デザインを考える会、東京急行電鉄、日産自動車、日本アイ・ピー・エム、東日本旅客鉄道、三井住友信託銀行、三井不動産、三菱重工環境・化学エンジニアリング、ヤフー、リノベーション住宅推進協議会
ANA総合研究所、麒麟、ぐるなび、THE FUN、JXエネルギー、宝さがしから地域デザインを考える会、東京ガス、東京急行電鉄、日産自動車、日本アイ・ピー・エム、三井不動産、三菱重工環境・化学エンジニアリング、リノベーション住宅推進協議会
ANAホールディングス、麒麟、THE FUN、宝さがしから地域デザインを考える会、千代田化工建設、東京ガス、東京急行電鉄、日産自動車、三菱地所、三菱重工環境・化学エンジニアリング、横浜赤レンガ、楽天、リビタ
グーグル、THE FUN、積水ハウス、全日本空輸、宝さがしから地域デザインを考える会、千代田化工建設、東京急行電鉄、日産自動車、ベネッセホールディングス、三菱地所、三菱重工環境・化学エンジニアリング、横浜赤レンガ
アサヒビール、イオン、ANAホールディングス、花王、鹿島建設、JXTGエネルギー、湘南ヘルスイノベーションパーク、東海旅客鉄道、投資信託協会、DOWAホールディングス、凸版印刷、トヨタ自動車、ヤマトホールディングス
Axcelead Drug Discovery Partners、イオンアグリ創造、ANAホールディングス、NTTデータCCS、花王、サントリービール、住友金属鉱山、東海旅客鉄道、凸版印刷、トヨタ自動車、富士フイルム、星野リゾート、ヤマト運輸
イオンアグリ創造、鹿島建設、キャノン、サントリービール、JXリサーチ、住友化学、全日本空輸、第一生命保険、凸版印刷、トヨタ自動車、星野リゾート、三菱地所、ヤマト運輸
イオンアグリ創造、鹿島建設、キャノン、協和発酵麒麟、サントリービール、JX日鉱日石エネルギー、全日本空輸、凸版印刷、トヨタ自動車、日立製作所、星野リゾート、三菱地所、ヤマト運輸

出講企業・団体名

NTTデータ、NTTデータ経営研究所、オリックスリビング、カブコン、スズキ、セブン-イレブン・ジャパン、双日、大成建設、東海旅客鉄道、凸版印刷、日立製作所、三井住友銀行、三菱マテリアル、ヤマトホールディングス
味の素、NTTデータ、花王、カブコン、麒麟、JFEエンジニアリング、セブン-イレブン・ジャパン、全日本空輸、東海旅客鉄道、凸版印刷、日立製作所、丸紅、ヤマトホールディングス
味の素、NTTデータ、花王、カブコン、麒麟、JFEエンジニアリング、セブン-イレブン・ジャパン、全日本空輸、SOMPOホールディングス/日本経済団体連合会、東海旅客鉄道、凸版印刷、日立製作所、ヤマト運輸
NTTデータ、花王、キャノン、JFEエンジニアリング、住友化学、東海旅客鉄道、凸版印刷、日本郵船、野村ホールディングス、日立製作所、富士フイルム、ヤマト運輸
アサヒグループホールディングス、味の素、JFEスチール、住友化学、住友商事、全日本空輸、帝国ホテル、トヨタ自動車、豊田通商、日本取引所グループ、三菱地所、三菱重工業
イオンアグリ創造、S2 Design and Planning、王子グリーンリソース、サラダクラブ、静岡文化芸術大学、住友化学、タキイ種苗、日本水産、ハイライフボーク・アジア・リミテッド、富士通、マルハニチロ、ヤンマーアグリ、ワタミ
イオンアグリ創造、ANA Cargo、鹿島建設、セブン-イレブン・ジャパン、東京電力パワーグリッド、東レ、中日本高速道路、ニッセイ基礎研究所、パナソニック、東日本旅客鉄道、ベネッセスタイルケア、星野リゾート・マネジメント、三井住友フィナンシャルグループ
NTTデータ、オムロン、コニカミルタ、コマツ、東京ガス、東芝/日本経済団体連合会、日本電気、みずほ銀行/みずほフィナンシャルグループ、三井不動産、三菱電機、ヤンマー
NTTデータ、オムロン、コマツ、セイコーエプソン、ソニー、タニタ、Niantic, Inc.、日本光電、パナソニック、パナホーム、マツダ
NRIセキュアテクノロジーズ、カブコン、セコム、東芝ライフスタイル、トゥ・ディファクト、ドコモ・ヘルスケア、日産自動車、日本テレビ放送網、東日本電信電話、日立システムズ、日立製作所、富士通
インターフェース、グーグル、計測リサーチコンサルタント、健幸プラス、コーチ・しおん、情報通信総合研究所、Spiber、日本銀行、日本政策金融公庫、日本マイクロソフト、富士通、Medico-tec、YA MAGATA DESIGN
アクス、情報通信総合研究所、Spiber、関谷染色、日栄無線、日本政策金融公庫、日本電気、日本マイクロソフト、ノイアンドコンピューティング、富士通、マツダ、ライフネット生命保険
エネルギー・コミュニケーションズ、カスタネット、京都中小企業家同友会、こと京都、情報通信総合研究所、東北大学、ドリーム・アーツ、日本銀行、日本政策金融公庫、日本マイクロソフト、フジイコーポレーション、富士通、ライフネット生命保険、レアジョブ
朝日放送、情報通信総合研究所、大和ハウス工業、T&Y マツモトコーポレーション、東芝、凸版印刷、日本銀行、日本政策金融公庫、日本マイクロソフト、ヒロボー、富士通、ライフネット生命保険、楽天
いろいろ、NTTコミュニケーション科学基礎研究所、NTTDコモ、CANVAS、情報通信総合研究所、中国放送、凸版印刷、西日本電信電話、日本銀行、日本政策金融公庫、富士通、ライフネット生命保険、楽天技術研究所
鹿島建設、JFEスチール、石油連盟、全日本空輸、電力中央研究所、東京ガス、東芝エネルギーシステムズ、戸田建設、トヨタ自動車、日揮、三菱日立パワーシステムズ、ユニバーサルエネルギー研究所
鹿島建設、JFEスチール、石油連盟、全日本空輸、電力中央研究所、東京ガス、東芝、戸田建設、トヨタ自動車、日揮、三菱日立パワーシステムズ、ユニバーサルエネルギー研究所
ANAホールディングス、JFEスチール、石油連盟、電力中央研究所、東京ガス、東芝、戸田建設、トヨタ自動車、日揮、三菱日立パワーシステムズ、三菱マテリアル、ユニバーサルエネルギー研究所
JFEスチール、シャープ、全日本空輸、電源開発、東京ガス、東芝 電力システム社、戸田建設、トヨタ自動車、21世紀政策研究所、日揮、三菱日立パワーシステムズ、三菱マテリアル、ユニバーサルエネルギー研究所
科学技術振興機構、JFEスチール、シャープ、新エネルギー・産業技術総合開発機構、全日本空輸、電源開発、東京ガス、トヨタ自動車、日揮、北海道電力、三菱日立パワーシステムズ、三菱マテリアル、ユニバーサルエネルギー研究所



2019年度

企業人 派遣講座

一般財団法人

経済広報センター

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

TEL:03-6741-0021 FAX:03-6741-0022

<http://www.kkc.or.jp/>

「企業人派遣講座」ホームページのご案内

これまでの講師や企業・団体の一覧を
経済広報センターのホームページで
ご覧になることができます。

経済広報センター 企業人派遣講座

検索